

神戸学院大学東アジア産業経済研究センター

2004年度神戸セミナーについて

各位

2004年11月15日

東アジア産業経済研究センター長 関 劭

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、東アジア産業経済研究センター（ERC）は文部科学省のオープンリサーチセンター構想に選定され、5年間の補助を受けて、ASEAN、中国での産業政策に関する提言や、企業への有益な情報提供の実現を目指して活動しています（調査・研究活動自体は、2000年度より開始しています）。

こういった地域研究に関して、従来の日本の大学の研究体制は現地の大学との提携のもとに大学間の共同研究として実施され、その成果も、アカデミズムに偏りがちであったと考えています。そこで、ERCでは、大学間提携よりも、企業や政府機関との接点を重視し、徹底的な現場主義で、研究・調査活動を進めることとしました。

幸いにも、経済産業省や日本貿易振興会等のご助力もあり、この3年間でかなりの調査実績をあげることができました。また、そうした活動の一環として、2000年度から2003年度にかけて4年連続バンコクで、また文科省の助成を受けた2002、2003年度は神戸でそれぞれ企業のトップの方や政府関係者をお招きして有益なお話を伺うことができました。また、本年9月には中国では初めてとなるセミナーを上海で開催致しました。

こうした取り組みの延長として、本年度は11月27日（土）に学内でセミナーを実施することになりました。今回は、経済産業省で商務情報政策局長の任にあられます豊田正和氏と、朝日新聞社で経済部を長く経験しておられる滝本裕氏にご講演を頂きますとともに、20年以上にわたりタイの日系企業について調査を続けてきた本学教授吉見威志の最新の成果もご披露する予定でございます。

非常に有意義な情報をご提供できるものと考えておりますので、各位におかれましては、ご多忙のこととは存じますが、ご参加の方ご検討賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具